



消防大学校だより



消防研修第105号(特集:大規模風水害対策)の発行

消防大学校では、消防本部等における消防防災体制の強化のための知識・技術の向上に資するために、「消防研修」を昭和40年(1965年)10月に創刊、毎年2回発行し、各都道府県、消防学校、消防本部等に配布しています。

消防研修第105号では、「大規模風水害対策」をテーマに特集しました。

近年相次ぐ風水害に対し、消防機関の風水害対応能力の強化や気象情報の改良など様々な取組が行われています。風水害は、突発的に発生する地震や火山災害と異なり、比較的早い段階から様々な防災気象情報が提供され、これを基に市町村長が避難勧告等を発令し、住民の避難を促すことができます。しかし、避難に支援が必要であ

るにもかかわらずその支援の手が届かなかったり、避難勧告等が発令された時点で既に避難困難な環境になっていたり、避難勧告等が行き届かない事例があったことも肝に銘じなければなりません。洪水・土砂災害などの危険性を日頃から認識し、避難可能な環境であるうちに避難するということが非常に重要となります。

こうしたことから、今回の消防研修では「大規模風水害対策」を特集し、防災気象情報の活用方策や救助技術の高度化などについて分析していただくとともに、災害対応や災害時の活動などを紹介していただきました。消防研修最新号は、消防大学校ホームページにも掲載しています。

消防研修第105号(特集:大規模風水害対策)の主な掲載内容

- 大規模自然災害に伴う浸水域における救助技術の高度化について
消防庁国民保護・防災部参事官付救助係長 松浦 知哉
- 急流救助技術の概念から見た大規模風水害対策
東京消防庁 吉樂 隆男
- 風水害から命を守る
気象庁予報部予報課気象防災推進室 防災気象官 高橋 賢一
- 大規模風水害における航空小隊の活動
～平成29年7月九州北部豪雨時の福岡県内の活動から～
福岡市消防局警防部消防航空隊
- 「平成26年8月豪雨災害」の対応について
広島市東消防署 副署長 寺岡 昭夫

問合わせ先

消防大学校調査研究部
TEL: 0422-46-1713



消防大学校だより



平成31年度 消防大学校 客員教授について

消防大学校では、客員教授制度により、消防に関し特に優れた知識及び経験を有し消防大学校における教育等に対して顕著な協力をいただける方に対し、客員教授の称号を授与しています。

このたび、平成31年度の客員教授名簿を作成しましたので、教育訓練等の講師選定の参考として紹介します。

※ 客員教授の連絡先については、消防大学校担当者までお問い合わせください。

※ 客員教授への講師依頼等の事務については、依頼元（各地域の消防学校等）が直接行い、これに係る費用は、依頼元において御負担ください。

専門分野	氏名	所属・職名
(1) 教育技法	山崎 洋史	昭和女子大学大学院 心理学専攻教授 総合教育センター長
(2) 人材育成	小島 晴夫	元さいたま市消防局長
(3) 組織管理	新井 雄治	元東京消防庁消防總監
(4) 消防実務法規	秋山 恵	元東京消防庁理事兼総務部長
(5) 予防法令運用	荒井 伸幸	元東京消防庁理事兼総務部長
(6) 予防政策	有賀 雄一郎	元東京消防庁次長
(7) 地域防災	瀧本 浩一	山口大学大学院創成科学研究科准教授
(8) 接遇、話し方技法、女性消防団活動	小澤 浩子	赤羽消防団 副団長
(9) 防災図上訓練	日野 宗門	Blog防災・危機管理トレーニング 主宰

平成31年度 特別講習会及び消防大学校フォーラムの開催について

消防大学校では、ラグビーワールドカップ2019等の大規模イベントへの開催に向けて、NBC災害対応能力及び多数傷病者対応力の向上を主眼とした特別講習会を開催するとともに、平成28年度から消防における重要課題への取組みに寄与することを目的とした消防大学校フォーラムを実施しています。

平成31年度の開催予定は、下表のとおりです。開催に関する実施詳細は、各都道府県消防防災主管課に通知いたします。

○特別講習会

開催日	開催場所	定員
令和元年 5月15日(水)	福島県会場（郡山市：けんしん郡山文化センター）	200名
9月上旬	茨城県会場（調整中）	//
12月中旬	千葉県会場（市原市内）	//

○特別講習会及び消防大学校フォーラム

（特別講習会の講義に加え、女性消防吏員の活躍をテーマとしたフォーラムを開催）

開催日	開催場所	定員
令和元年 11月中旬	宮城県会場（仙台市内）	200名

問い合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712